向後千春（2006.9）大福帳は授業の何を変えたか『日本教育工学会研究報告集』JSET06-5 Pp.23-30　（発表時配付資料）

大福帳は授業の何を変えたか

- はじめに
  - 大規模授業の問題
    - 学生・教員間のコミュニケーションツール
      - ミニットペーパー
        - 授業のポイントは？
        - 疑問がありますか？
      - 質問書（田中一）
        - 授業内容についての質問
        - 翌週に選択した質問に回答
      - 大福帳（織田揮準）
        - ◆レイアウト例
        - ◆記入例
      - 何でも帳（田中毎実）
        - 質問、感想、要望
        - 5行前後／コメントは１行
        - 翌週に取り上げ、相互作用的授業をする
- ケース１
  - 授業
    - 2004年度・履修約300人
    - 教授デザインの概論
    - レクチャー1時間＋小グループ討論
    - 最後10分で大福帳記入
    - 全体の20%に返事を記入
  - 結果
    - 大福帳に関する調査
      - 回答292人
      - ◆書いた内容と平均個数
      - ◆大福帳の効果
      - ◆教員からの返信の希望
      - ◆返信されてうれしかった・良かった内容
      - ◆返信されてうれしくなかった・良くなかった内容
      - ◆大福帳を書き始めて変わったこと
      - ◆改善して欲しいこと
  - 考察
    - 意見・感想・質問・まとめで8割超
    - 効果
      - 参加している実感
      - 教員とのコミュニケーションがとれる
      - 授業内容について深く考える
    - 教員からの返事を強く望んでいる
      - 一言だけの返事は不満を生む
      - 返事を書くなら長く書いて欲しい
- ケース２
  - 授業
    - 2006年度・履修約150人
    - 教授デザインの概論
    - レクチャー30分＋小グループワーク
    - 最後10分で大福帳記入
    - 教員の返信なし（印のみ）
  - 結果
    - 大福帳に関する調査
      - 回答140人
      - ◆大福帳に書くことは楽しかったか
      - ◆書くことは大変でしたか
      - ◆書くことは自分のためになりましたか
      - ◆大福帳の効果についての評価
      - ◆教員からの返信の希望頻度
      - ◆大福帳によって変わったこと
      - ◆改善して欲しい点
  - 考察
    - 教員の返信なしによりコミュニケーションの評価は低くなる
    - 教員からの返信を強く望んでいる
    - 授業の振り返りや出席の促進の効果
- 総合考察
  - メリットとコスト
    - 書いてもらう内容の自由度
      - 感想・意見
      - テーマエッセイ
      - 小テスト・クイズ
      - 無関係な内容はごくわずか
    - コミュニケーションのみならず授業内容の理解と定着に効果
    - 学生は教員からの返信を期待
      - 返信なしのネガティブな効果
      - 返信を書く時間はかかる
        - 100人あたり2〜3時間
      - 授業アシスタントが返事を書く（案）
  - 出席票としての
    - 大福帳では出席の不正ができない
    - これまでの出席履歴が一覧できる
      - 皆勤賞を目指す学生
      - 休んだ回を自発的に復習する
  - 大福帳を書く習慣がもたらす成果
    - 授業の振り返りができる
    - 「まじめに聞こう」ではなく大福帳を書かせよう
    - 教員のスタイルによってテスト・質問・感想を書かせる
    - 書く仕事が最後にあることが授業への集中を生む
  - 教員の姿勢を暗示する
    - 受講生とコミュニケーションを取りたい
    - 授業に参加して欲しい
    - 理解の度合いや要望によって授業を柔軟に変更する
      - スライドが速すぎる
      - もっと具体的な話を
      - 映画はおもしろかった
  - どのツールがよいのかではなく
    - いずれのツールも効果がある
      - 対話のある授業
      - 学生のフィードバックによる授業の改善
    - その中でも大福帳はバランスのとれたツール
      - オンライン大福帳
        - eラーニングでの大福帳
      - 私信としての大福帳
        - ポリシーのもとで相談業務